

宮古の風



～ 新しい風は東から ～

サードプレイスという言葉をご存じですか。家庭でも学校でもない第3の居場所のことです。サードプレイスで所属感や役割を得ることは、当事者意識や自己肯定感を育みます。各地でイベントが開催されていますが、子どもたちが地域の中で体験を深める秋になると良いですね。文責：黒田

宮古地区「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム

9月2日(水)、宮古市民文化会館において、宮古地区「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムを開催しました。実践発表では、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」と「子どもの社会参画」をテーマに、岩泉町立岩泉中学校の取組を発表していただきました。

校長先生、学校運営協議会会長、地域連携コーディネーター3者の視点から地域の未来を担う子どもたちを育てるためのヒントについてお話していただきました。

レクチャー&ワークショップでは、「地域と学校で連携する面白さ」と題して、いわてCSアドバイザーの佐々木勉先生にご講義いただきました。多様な地域・役職の参加者が交流し、テーマに沿って対話をしました。参加者自身の学校及び地域の取組を振り返り、地域の子どものために自分には何ができるのかを考える時間となりました。



岩泉中学校学校運営協議会の実践発表。

藤枝氏、佐藤氏、刈屋氏に発表いただきました。地域の子ども達への熱い想いが伝わりました。

佐々木氏によるレクチャー&ワークショップ。理論と実践を交えた説明は分かりやすく、大好評でした。

対話を主体とした参加型学習をとおして、地域の子どもたちのためにできることを参加者全員で考えました。

地域×学校 訪問支援事業をご活用ください

宮古教育事務所では、「地域学校連携に関する訪問支援」を行っております。社会教育主事が地域と学校の連携に関する課題解決につながる支援をいたします。

以下に支援内容例を紹介いたしますので、ぜひご活用ください。

学校運営協議会に関する訪問支援

- ・協議会の運営に関する相談
- ・学校運営協議会への助言、ファシリテート
- ・CSポートフォリオ活用レクチャー など

地域学校協働活動に関する訪問相談

- ・学校・家庭・地域の連携・協働
- ・地域学校協働活動推進員(コーディネーター)の活用
- ・CSと地域学校協働活動の一体的な推進 など

各学校、PTA主催の研修会講師派遣

学校運営協議会や地域学校協働活動に関する研修、熟議のワークショップ など

ご相談ください！

市町村教育委員会 地域学校連携担当 または
宮古教育事務所 社会教育担当(黒田)まで

いわての復興教育研修会

8月26日(水)、宮古地区合同庁舎において、令和8年度「いわての復興教育研修会」を開催しました。宮古市立宮古小学校、山田町立山田中学校の実践発表や、山田町教育委員会 教育長 松葉 覚 様による講話、研修者による協議を通して、各校の復興教育の一層の推進につながる研修会となりました。

ご存じの通り、いわての復興教育の目的は、「郷土を愛し、その復興・発展を支える人材育成」です。いわての復興教育を推進するために、3つの教育的価値と具体の21項目を全教育活動で育むことが求められます。

(右図参照)

実践発表では、「いきる かかわる そなえる」を育む実際の活動を、講話では、「いわての復興教育」誕生に込めた思いや理念を改めてお話いただきました。

以下、研修者の感想を紹介します。



「いわての復興教育」プログラム第3版
(平成31年3月 発行)

○ 実践発表「いきる かかわる そなえる を育む実践」について

- 宮古小の発表では体験活動が充実していること、計画に基づいて実践がされている点が学びになった。各学年の活動が単発にならず、つながりが感じられるものになっているので見習いたい。
- 毎年各学年の復興学習プログラムの見直しが図られていることや、年度初めにオリエンテーションを行い、身に付けたい力を共有していることが素晴らしいと感じた。
- 山田祭への全員参加の実践について、地域への愛、自己有用感を育む上で、とても効果的だと感じた。生徒発信でスタートし、さらに改善しながら毎年推進しているのが素晴らしいと感じた。
- 山田中学の発表では、地域とのつながりが強く感じられるものであり、生徒の将来にも大きな影響を与える取り組みだと思った。



【宮古小 金野 建 主幹教諭】



「山田中 藤原 駿 教諭」

○ 講話「これからの『いわての復興教育』に期待すること」について



「松葉 様からの講話」

- 「子どもの笑顔は教育の責任」という言葉が心に刺さりました。今まで年計で示されているから、行事と関連があるから読ませていた副読本だったが、初版で考え、改訂版で実践例を参考にするという視点で活用していきたい。
- 震災当時を思い出した。あの当時の熱量からすると、マンネリ化・形骸化している面があると感じる。宮古地区だからこそやらなければいけないこと、やれること等があると思う。

○ 協議「各校の復興教育の一層の推進に向けて」について

- 中学校の話も聞いたことで、キャリア教育と関連させることで、評価につながり、また改善にもつながると思った。改めて「いわての復興教育」を特別なものとして捉えるのではなく、関連や共通点を見つけてつなげていくことで、復興教育の視点を広げていきたい。



「中学校区ごとに協議」

ぜひ、研修会での学びを各校の実践に生かし、教育活動のさらなる充実を図っていただきますようお願いいたします。